



三島学園報

NO. 9
2007.12



学校法人 三島学園

東北生活文化大学 | 東北生活文化大学短期大学部 | 東北生活文化大学高等学校 | ますみ幼稚園 | ますみ保育園



アートな職人育成プログラム

このプログラムは大学生生活美術学科が、「経済財政運営と構造改革に関する基本方針2006(平成18年7月7日閣議決定)」等を踏まえ文部科学省が公募した平成19年度社会人の学び直しニーズ対応教育推進プログラム委託事業に提案し、優れた取り組みとして選定、採択されたものである。

アートな職人育成プログラムとは、大学の教育研究資源としての施設や設備を使用し、大学生生活美術学科の教員と、宮城仙台で高度な技能をもつ職人とで、ニートやフリーター、離職者等の若者層を対象としてアートな職人を育成するというものである。

このプログラムに参加する若者には、アートを通じてくものづくりへの関心を深め、職人を通じて伝承されてきた高度な技能を、体験を通して理解させ、職業としてのく職人>を志向することを期待するものである。

今年度は準備期間として、「アートな職人って何?」というテーマでものづくりに関わる若手職人をパネリストとしたシンポジウムと、職人と本学科教員による2回のワークショップ実施を計画している。プログラムの開講は平成20年度からで、受講者定員10名程度、受講期間は基本的に1年間である。

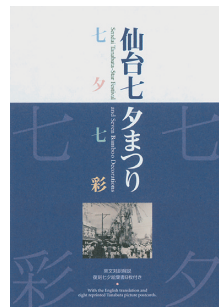
委託事業期間は平成22年3月までであるが、この社会人のための学び直しの教育プログラムをその後も何らかの形で継続、発展させるのも大学の使命の1つであると考え、本プログラムを何とか成功させたいと思っている。



「仙台七夕まつり七夕七彩」出版 (著書執筆 近江恵美子教授)

この夏、大学生生活美術学科近江恵美子教授が執筆された「仙台七夕まつり七夕七彩」という本が、地元仙台的の古い地図や写真集を発行する「風の詩」編集部から出版された。内容は七夕の起り、竹飾りの特徴や逸話が、写真や地図、イラスト等を交えて紹介され、全文に英訳も付いているので、外国の方々にも重宝され、歴史が分かる決定版として変遷の貴重な資料となっている。

A5判110頁。金港堂や丸善仙台アエル店等で販売しているが、大学生協内でも注文できる。



第39回日展に入選

日展100年目という記念すべき年に開催された第39回日展において、高校の工芸・陶芸で長年ご指導いただいている浅井裕子先生(陶芸)、近藤孝則先生(陶芸)、川北京子先生(七宝)のそれぞれの作品が第4科(工芸美術)部門で見事入選に輝いた。第4科工芸美術部門は1,095点の多数の応募の中から入選となった。



東北大学創立100周年記念 第1回 青春のエッセー 阿部次郎記念賞 自由の部【入選】 高校3年 寺内礼香

「日々の喜怒哀楽やそれをどう感じているかを文章でたたきつけてくればいい。」と脚本家の内館牧子さんのコメントが新聞に掲載されていた。その言葉にひきつけられ、高校生活最後の夏休みを原稿用紙と格闘することに決めた。

今では充実した毎日を過ごしている私でも、14歳の頃に大病となり生きることをあきらめたことがあった。この経験を基に闘病生活での心の葛藤や母の愛情を著した。



永年勤続表彰 (平成19年10月25日(木)100周年記念棟2階会議室) 高校教諭 伊藤すみ子先生

永年勤続の表彰式をあげていただき、身に余る光栄と深く感謝申し上げます。

高校の教諭を拝命致しまして25年、今まで勤めさせていただくことができましたことは、先輩諸先生のご指導とご庇護、そして子ども達のおかげだと有難く思っております。

教育の原点は生徒と教師の心の触れ合いにあると信じております。教育への情熱を失わず、母校で教鞭を執ることの幸せを思い、微力非才ではありますが、優秀な人材を輩出する一翼を担い、学園の発展のために努力させていただきたいと存じます。今後ともご指導、ご支援下さいますようお願い申し上げます。



三島学園公開講座 東北生活文化大学講演会

ファッションデザイナー

西村 宏美氏「感性は国境を越えた」

～本学学生とのコラボレートによるファッションショー～

11月21日(水)13時から14時半100周年記念ホールにて、「三島学園公開講座 東北生活文化大学講演会」として、仙台在住西村宏美氏と本学学生とのコラボレートによる、ファッションショーを兼ねた講演会「感性は国境を越えた」が開催された。西村氏は、1991年6月着物地で創る洋服の専門店「グランベル」をオープン、創作活動に入り、1995年6月株式会社「グランベル」代表取締役になった。1997年9月には、「伝統文化を守る会」を興し、代表となっている。海外での活躍も目ざましく、1994年よりヨーロッパ各地、アジア地域等でFIMT主催の国際ショーに毎年参加。1998年、初のパリコレクション開催。以降ヨーロッパは、パリを中心にコレクション多数開催。1999年より中国政府主催の国際ショーに多数参加客演。2008年にはインドネシア国際ショー、2009年オーストリア国際ショーに参加を予定している。1996年には、国際高級注文服業者連盟第16回アジア大会アジア会長賞受賞、2001年全日本洋服協同組合連合会服装文化賞を受賞している。

会場は、学生・一般からの応募者・本学園の教職員などの来聴者で満員となった。また、マスコミ関係者も取材に訪れた。

ショーは、日本の伝統文化、精神文化、日本人の知恵、日

本の服の構成技法を活かして、日本の被服素材などから西村氏がインスピレーションを受け創造した36作品を、7つのシーンで構成し、学生スタッフが自由に解釈し演出した。シーンごとに西村氏が作品の解説と作品を通して社会へのメッセージを講演した。また、学生からの質問には真摯に答え、清らかな心を研ぎ澄まして自分の仕事に望むことが大事であると語った。

スタッフとして参加した学生は、リハーサルまではプロフェッショナルの厳しさを実感していたが、本番では西村氏の母のような感性に暖かく包まれ、緊張の中にも生き生きと楽しくそれぞれの責務を果たした。

ショーの最後の4作品には、来聴者から作品名が付けられるという。西村氏と来聴者との感性の交歓が行われる。



◎平成20年度 入試日程

【東北生活文化大学】

種 別	出願期間	試 験 日
推薦入試	平成19年11月 1日(木) ～ 11月13日(火)	平成19年11月17日(土)
一般入試 A日程	平成20年 1月10日(木) ～ 1月25日(金)	平成20年 2月 3日(日)
一般入試 B日程	平成20年 2月13日(水) ～ 2月26日(火)	平成20年 3月 4日(火)

◎資料請求・問い合わせ先:入試課(TEL.022-272-7521)

【東北生活文化大学短期大学部】

種 別	出願期間	試 験 日
AO入試	平成19年 9月10日(月) ～ 10月12日(金)	平成19年10月27日(土)
推薦入試	平成19年11月 1日(木) ～ 11月13日(火)	平成19年11月17日(土)
一般入試 A日程	平成20年 1月10日(木) ～ 1月25日(金)	平成20年 2月 4日(月)
一般入試 B日程	平成20年 2月13日(水) ～ 2月26日(火)	平成20年 3月 4日(火)

◎資料請求・問い合わせ先:入試課(TEL.022-272-7521)

【社会人入試:大学・短大】

種 別	出願期間	試 験 日
特別選抜	平成20年 1月25日(金) ～ 2月18日(月)	平成20年 2月23日(土)

◎資料請求・問い合わせ先:入試課(TEL.022-272-7521)

【私費外国人留学生入試:大学・短大】

種 別	学 科	出願期間	試 験 日
特別選抜	大学:家政学科 服飾文化専攻 生活美術学科 短大:生活文化学科生活学専攻	平成20年 1月25日(金) ～ 2月 8日(金)	平成20年 2月23日(土)

◎資料請求・問い合わせ先:入試課(TEL.022-272-7521)

【編入学試験】

学 科	出願期間	試 験 日
大学:家政学科 家政学専攻 生活美術学科	平成19年11月 1日(木) ～11月14日(水)	平成19年11月28日(水)

◎資料請求・問い合わせ先:教務課(TEL.022-272-7513)

【東北生活文化大学高等学校】

種 別	出願期間	試 験 日
特待生(学力・美術・スポーツ)推薦入試 一般推薦入試 美術推薦入試 自己推薦入試(美術コース希望者を含む)	平成20年1月 7日(月) ～1月15日(火)	平成20年1月17日(木)
一般入試 専願入試	平成20年1月 7日(月) ～1月22日(火)	平成20年2月 1日(金)

◎資料請求・問い合わせ先:入試広報室(TEL.022-272-7522)

【ますみ幼稚園】

願書配布	願書受付
平成19年 9月 1日(土)～10月31日(水)	平成19年11月 1日(木)

◎資料請求・問い合わせ先:ますみ幼稚園(TEL.022-225-5020)

【ますみ保育園】

◎資料請求・問い合わせ先:ますみ保育園(TEL.022-227-7080)

エコバッグ

8月上旬、仙台市市民文化事業団より「5月から6月に開催した仙台国際音楽コンクールの期間中、市の中心部に飾った宣伝用のバナーフラッグを再利用して、エコバックを制作してほしい」との協力依頼を受けた。夏季授業を利用し学生とともに制作にあたり、緑のバナーは80個のエコバックに生まれかわり、新聞・テレビ等にも取り上げられた。このエコバックは仙台クラシックフェスティバル（10月6日～8日）の会場で販売され大変好評で、即日完売したとの報告を受けている。

第8回中学生美術コンクール

平成12年に学園創立100周年を記念してスタートした中学生美術コンクールは今年で8回目を迎えた。“中学生の皆さんの美術教育への関心を高め、豊かな心を育む”ということを趣旨として毎年開催している。今年は高等学校耐震補強工事のため、例年9月の学園祭に表彰式を行っていたが10月13日に変更となった。約80名を超える中学生、保護者、家族の方が参加して行われた。参加校56校から応募総数324点の中から最優秀賞には、仙台市立山田中学校3年木幡竜飛くんの作品「夢蛾夢虫」、理事長賞には富谷第二中学校吉田彩香さんの「仮面の恐怖」が選ばれた。



学生食堂前カフェテラス

10月に食堂前の整備工事が完了し学生や職員の憩いの場ができた。喫煙所になっていた所の芝を張替え、スペースを設けて木製の支柱に屋根をかけ、透水性のタイルを敷いた。壁面には、3月に生活美術学科を卒業した菊池香里さんのモザイクを設置し、11月末には、河北展河北賞や大学病院のモニュメントでも知られる、本学卒の彫刻家日下育子さんの彫刻が設置された。大学に建物、壁画、彫刻とまた一つ美しい景観が増えた。



2007イラスト・マンガコンクール

昨年に引き続き2007イラスト・マンガコンクールを開催した。このコンクールは個人応募の方法をとっているのにも拘わらず参加校91校、353点の応募があった。ひとつひとつ、どの作品をとっても非常に素晴らしく、中学生の皆さんのイラスト・マンガに対する関心の高さが伺われるコンクールとなった。表彰式は9月9日（日）高校視聴覚教室で行われた。

全部門の最優秀賞には塩釜市立玉川中学校3年、秋場淑菜さんの作品「ハナのユメ」が選ばれた。



学生・生徒の活躍

大学

- 生活美術学科
 - 2007 SOSABEOL INTERNATIONAL ART EXPO（韓国・平澤市）
 - 【出品】後藤 俊幸（生活美術学科4年）
 - 遊佐 美智子（生活美術学科4年）
 - 後藤 和紀（生活美術学科1年）
 - 第1回NBCシルクスクリーン版画ビエンナーレ展
 - 【入選】津田 智美（生活美術学科4年）
 - 【佳作】佐藤 潤（生活美術学科4年）
 - 飯崎 仁誌（生活美術学科4年）
 - 山上 恭子（生活美術学科2年）
 - モザイクビエンナーレ2007
 - 【入選】大友 郁美（生活美術学科4年）

高校

- ソフトボール部
 - 第6回ヤマザキカップ高校女子ソフトボール大会【優勝】
 - 第21回宮城県ソフトボール総合選手権大会高校の部【第3位】
 - 第34回仙台市高等学校女子ソフトボール選手権大会【準優勝】
 - 第12回若あゆ争奪東北高校女子選抜ソフトボール大会【準優勝】
 - 宮城県高等学校新人大会ソフトボール競技【第2位】
 - 第2回東北高等学校女子ソフトボール選抜大会【第1位】
- ソフトテニス部
 - 宮城県高等学校新人女子ソフトテニス競技【ベスト8】
- バレーボール部
 - 宮城県私立高等学校バレーボール選手権大会女子の部【第3位】
 - 第12回全国私立高等学校バレーボール大会出場（12月）
- 少林寺拳法
 - 第1回東北高等学校少林寺拳法選手権大会女子初段演武【第3位】
 - 平成19年度仙台武道まつり少林寺拳法大会高校男子初段の部【第2位】、【第3位】
 - 団体の部【第2位】
- バスケットボール部
 - 宮城県私立高等学校バスケットボール選手権大会第27回秋季大会【第4位】
- 美術部
 - 第7回全国高等学校ファッションデザイン選手権大会【入選】
 - 県防犯防止コンクール 普通科1年7組 笠原 七恵【最優秀】
 - 普通科1年8組 今野 麻衣、今野 美帆
 - 小山田 知央、庄子 理恵【優秀賞】

- 少林寺拳法部
 - 第41回少林寺拳法全日本学生大会（日本武道館）
 - 【男女段外の部／優良賞 第3位】相澤 知賀子（生活美術学科1年）
 - 【男子二段の部／決勝進出】星 悠子（生活美術学科4年）
 - 【男子初段の部／決勝進出】工藤貴典（家政学科健康栄養専攻2年）
 - 少林寺拳法創始60周年記念大会（日本武道館）
 - 【宮城県代表 男子三段以上の部出場】星 悠子（生活美術学科4年）
- 女子バレーボールクラブ
 - 第42回 全国私立短大体育大会（日本武道館）
 - 【女子バレーボール／トーナメント3位】
 - 第32回東北バレーボール大学男女リーグ戦
 - 【女子バレーボール／3部リーグ 優勝】

- 第31回全国高等学校文化祭 参加
- 第25回日本新工芸東北会展 出品 普通科3年8組 庄司 あゆみ【TBC東北放送賞】
- 第25泉・黒川地区高等学校美術展 19点【優秀賞】
- 第60回宮城県高等学校美術展
 - 普通科3年 8組 遠藤 紗希、斎藤 美香、佐藤 逸【優秀賞】
 - 普通科2年10組 菅原 実華
 - 普通科3年 8組 佐藤 逸美【ポスター賞】
- 表賞者
 - 宮城県演劇コンクール泉宮城野地区 普通科2年7組 神崎 祐輝【優良賞】
 - 東北大学創立100周年記念第1回青春のエッセー阿部次郎記念賞自由の部 普通科3年1組 寺内 礼香【入選】
 - 宮城県高校連バレーボール連盟 普通科3年7組 杉本 夏菜【優秀賞】
 - 宮城県高校連バレーボール専門部 普通科3年7組 佐藤 香奈恵【優秀賞】
 - 普通科3年6組 佐藤 彩香、長谷山 美帆、普通科3年3組 高橋成子
 - 普通科3年7組 高橋 実里【功績賞】
 - 宮城県高校連ソフトボール専門部 普通科3年7組 田中 里奈【優秀選手賞】
 - 今野 萌、鷲 恭子、普通科3年6組 荒 舞衣、藤岡 紀江、石田 奈未
 - 普通科3年2組 高橋 沙弥香
 - 普通科3年2組 大町 瞳、普通科3年3組 渡邊 美香【功績賞】
 - 宮城県私立高等学校バスケットボール選手権大会秋季大会
 - 普通科2年3組 佐藤 諒一【フリースロー賞第1位】
 - 商業科2年2組 村上 裕介【フリースロー賞第2位】
 - 普通科2年4組 鈴木 さくら【女子フリースロー賞第1位】
 - 普通科2年6組 館谷 優太【リバウンド賞第4位】

地球温暖化を考える 【学長】浅尾 豊信

地球温暖化はもはや言い古された言葉で、またかという感じを持たれる言葉かも知れない。しかし、地球の存亡に関わる重要な問題で、今年のノーベル平和賞もこの問題に関する世界的啓発活動を行ったとの理由で前米副大統領のゴア氏と、国連の「気象変動に関する政府間パネル（IPCC）」に授与された。環境問題に関する平和賞は2004年、ケニアのマタイさんの日本語での「もったいない」に次いで授与である。

温暖化に最も深く関わっているのは二酸化炭素である。これはガス、石油や石炭を燃やせば必ず発生するわけで、私ども人間が生活する上での食事の準備、冷暖房、車の運転、パソコン、電話等の使用の際には必ず発生するか、関係あると考えてよい。電力を使用しているから関係ないとはいえない。電力を発生する際にも二酸化炭素が発生するからである。尤も原子力による電力の発生には二酸化炭素は発生しないと考えてよいが、これには別の深刻な問題が存在する。

さて、地球温暖化が進めばどうなるのであろうか。南極の氷が溶けて海水面が高くなり、小さな島や海岸に近い街は埋没するとか、北極の白熊は絶滅する

のではなどと言われている。それも重要なことではあるが、さらに深刻なことは国家間の紛争や内戦の要因になりうる可能性を秘めていると考えられていることである。ゴア氏は「気候の危機は政治的な問題ではなく、全人類への道徳的、精神的な挑戦だ」つまり世界の平和を乱すと述べているが、今後とも政治的な問題とはせずに全人類の問題として解決に努力することが必要であり、IPCC の任務が極めて重要になると考えられる。

では、私どもはこの問題にどの様に行動すればよいのだろうか。風力等の自然エネルギーを使用するか、出来るだけエネルギーを使用しないことに尽きるのであるが、簡単そうで、簡単ではない。分っていても、あるいは気づかないで余分なエネルギーを使用しているのである。

本学園の百周年記念棟の屋上に太陽光発電装置が設置されていることをご存知でしょうか。この装置で年間1万kW弱の電力が生まれており、本記念棟の使用電力のかなりを賄っている。

地球温暖化は世界の今後の深刻な問題であることを認識し、各個人個人が真摯に考えるべき問題であることを提言したい。

人事異動について

退職者

8月10日付け 保育園【嘱託栄養士】高橋 裕子
8月31日付け 大学【副手】岩淵 ゆかり
9月30日付け 大学【講師】杉林 英彦
11月30日付け 短大【事務職員】菊地 良文

採用

7月13日付け 子育て支援センター【臨時職員】相澤 文子
8月13日付け 保育園【嘱託栄養士】菅原 恵里子
9月 1日付け 幼稚園【契約教員】熊谷 明美

10月1日付け 大学【教授】瀬戸 典彦
10月1日付け 短大【事務職員】大学・短大教務課長補佐 白鳥 彦
10月1日付け 大学【副手】馬場 加奈子
○大学 社会人学び直しニーズ対応教育推進プログラム（アートの職人育成）
受託事業職員
9月 1日付け 岩淵 ゆかり
9月14日付け 大江 寿枝

昇格

10月1日付け 大学【事務職員】大学・短大入試課長補佐 遠藤 保博（主任）

認証評価機関による 大学実地調査について

学校教育法により、大学、短大は認証評価機関による評価を受けることが義務付けられている。東北生活文化大学は、今年度、日本高等教育評価機構による認証評価を受けることになり、その一環として10月9日と10日に評価員による実地調査が行われた。9日は大学関係者との「顔合わせ」の会ののち、大学責任者をはじめ大学関係者との面談、学内視察が、10日は大学関係者や学生、卒業生、同窓会会長、後援会会長との面談が行われた。評価結果は、来年3月に大学に通知されることになっている。

学園歴史探訪

後藤新平の来校

南満州鉄道総裁、通信大臣、東京市長などを歴任した、岩手の生んだ政治家後藤新平伯爵が明治41年（1908）、大正13年（1934）の二度、本学の前身である東北法律学校・東北女子職業学校を訪れ激励のエールを送っている。伯爵は本学の設立者になられた斎藤実と同じ水沢留守家の家臣の出で、三島夫妻とも同郷であり深い縁があった。伯爵は「大風呂敷」の異名があり、大胆雄大な構想を数多く立案した政治家である。白い顎鬚の写真ともども雄渾な揮毫二幅が残されている。曰く「天然を稟（う）け論（さと）らざるの操（みさお） 蘭石（らんせき）を體し芳堅之契 新平」「まなひてもその甲斐なくばなかなか 学はぬよりも罪はありなむ 新平志す」



大学祭



今年の大学祭は、「わ!-笑、和、輪、話-」のテーマの下で「皆で楽しく交流を深める祭り」を目指し10月20、21日に開催された。好天にも恵まれ、恒例のファッションショー、生活美術学科コンクールやお笑いライブなどの企画に多くの来場者を迎えることができた。また短大子ども生活専攻のファンタジーランドの開設で子ども連れの来場者も目立った。さらに後援会特別企画として尺八演奏・写真展・絵画展も開催され、大いに来場者の好評を博した。



生文祭

2007生文祭が、7月7日(土)、8日(日)に行われた。今年は校舎耐震補強工事の実施に伴い、学園祭の準備に夏休みをあてることができなくなったため、夏休み前の7月に学園祭を実施することになった。準備不足が懸念されたが、実際に



蓋を開けてみると、いままでにない多数の方々が来場された。80周年記念棟広場に設置されたモンゴル国の住居ゲルや留学生によるモンゴル料理も人気を集めた。今年は開催時期にちなんで「俺が彗星私が織姫」の心だ! をテーマとした。



子育て・家庭支援センター のびのび



5月にスタートした子育て支援センターも、地域の子育て真っ最中のママの心の窓に、学園の優しい声が響きはじめてきました。月、水、金は元気でかわいい子供達の声とステキなママ達の笑い声でいっぱいです。

19年度にプログラムされた、親子の遊びをテーマに作った「のびのびくらぶ」も、「散歩」、「廃材で楽器作り」、「水鉄砲作りと水遊び」とまた数回の公開講座などなど、参加されたお子さんはもちろんママも大喜びで、あふれんばかりの笑顔です。

子育ては、昔から今の時代も変わらないものです。でも、この20年間で劇的に変わってきたのが、「母子の孤立化」、「母親の育児のストレス増加」。このようなことがないように、センターではいつでもお待ちしております。「always三丁目の夕日」の映画に写っている、あの夕日の色は、あしたも元気になるよ!、幸せになれるよ! と語りかけているような、また、失われつつある心を取り戻せるようにも思えてなりません。

今、センターでは、言葉には言い尽くせない程の、子育てにエールを、そしてセピア色の昭和30年代の夕日の色のような温かい心を育めるよう、歩きはじめています。

ひとりでも多く、子供の笑顔とママの笑顔が見られることを願ひ頑張っています。もし、学園のどこかで、のびのびチビッコを見かけたら優しさいっぱい声をかけてください。

親子でのびのび

(月・水・金の施設開放プログラム)

◎開催計画：毎週 月・水・金曜日

午前10時から11時30分 午後13時から15時

◎内 容：支援センターを中心に学園内を開放します。センター内でお子さまと遊んでいただいたり、季節の草花を探しながら散歩をしていただけます。

センターでは、保育士が皆さまをお待ちしております。子育てに関することなど、一緒に考えていきましょう。

のびのびくらぶ

(平日の午前中のプログラム)

◎開催計画：毎月数回 午前10時から11時30分

◎内 容：親子の遊びをテーマに、本学園ますみ保育園の保育士によるレクチャーと実践を行います。

12月12日(水) クリスマス会 (申込開始11月27日)

1月30日(水) 節分 (申込開始 1月15日)

2月27日(水) ひなまつり会 (申込開始 2月12日)

3月 5日(水) おたのしみ会 (申込開始 2月19日)

※申し込み・問い合わせ先
子育て家庭支援センター事務局 TEL. 022-227-7511

近況報告

東北生活文化大学

家政学科

7月29日、8月10日のオープンキャンパスでは、はじめに「ファッションチェック」があり、その後、服飾文化専攻は「布を加工してオリジナル雑貨を作ろう」、健康栄養学専攻は「健康チェック(「InBody」による測定)」の各講座を開講した。多数の高校生が参加して好評を得た。8月2日に、健康栄養学専攻2年生が「施設研修」を実施。地域の特色を生かした食の生産・流通について学び、有意義な研修となった。9月4日～7日には、家政学専攻(現:服飾文化専攻)2年生が「研修旅行」に参加した。栃木、群馬、長野、各県の施設を見学し、生活文化に関する見聞を広めた。



生活美術学科

今年で第34回目となる学科内コンクールの審査、授賞式が10月18日で無事終了した。受賞作品は全国レベルの審査会に出してもひけをとらない力作ぞろいであり、全応募作品が大学祭で一般に公開され好評を博した。

また10月にスタッフの異動があり、杉林英彦講師が転任され、後任に瀬戸典彦教授を迎えた。副手の岩渕ゆかりさんがアートな職人育成プログラムの嘱託職員になり新副手に馬場加奈子さんを迎え、今後一層の学科の発展と教育体制の充実が望まれるところである。

東北生活文化大学短期大学部

短期大学部は2専攻制として3年目を迎え新しい教育課程での体制がほぼ整ったといえる。2つの専攻ともに免許・資格取得のための学外での実習を行っているが、「生活学専攻」では、「中学校二種免許状(家庭科)」取得のために、2年次の学生5名が5月から3週間の教育実習を行った。一方、「子ども生活専攻」2年次の学生は、「保育士」資格取得のために、5月下旬から7月上旬にかけて保育所での実習(10日間×2回)と、7月下旬から10日間の児童福祉施設での実習の合計30日(約6週間)の実習を行った。また、昨年度から養成の始まった「幼稚園教諭二種免許状」取得のために、10月から4週間にわたり本学にとって初めての幼稚園教育実習が行われた。合計約10週間という実習を経験することで学生たちはより逞しくなって短大に帰って来た。今後は、学生たちがこれらの免許・資格を生かせる場に就職し、活躍していくことを期待したい。

東北生活文化大学高等学校

現在の校舎は(校地は現在の仙台市立病院。当時の清水小路から移転)昭和49年11月に完成。同年12月から新校舎で学校生活が始まった。移転して3年後の昭和53年6月12日、17時14分、マグニチュード7.4(震度5)の地震が宮城県内を襲った。死者16人、重軽傷者10,119人、住家の全半壊、部分壊併せて

90,395戸という大きな被害が生じた。本校では、各教室、体育館、グラウンド等で、補習や部活動の最中の地震だった。各教室の壁には亀裂、ガラスは破損、鉄柱は折曲、そして教室の天井や体育館の屋根の一部が落下した。更には、ガス倉庫内にあるボンベのノズルが破損し、校舎、校庭にガスが充満。一歩間違えば大惨事になるところだった。当時、この補修工事に一億数千万円程の費用が掛かったと聞いたが、人的被害がなかったことは幸いだった。

あれから29年が経過。今回の耐震工事は、前回起きた宮城県沖地震規模の地震が発生した場合、人命を第一に考えた校舎造りに心掛け、建物の倒壊や破損の少ない耐久性のある改修工事となった。工事の計画準備は3年前から始まり、耐震工事第一期として校舎C棟を平成19年4月下旬から5月初旬の連休を利用して行った。

第二期工事は、夏期休業を一週間ほど延長し、7月20日から9月2日までの間にA棟、B棟、体育館の改修工事を行った。工事は従来のブロック壁を撤去し、そこに鉄柱や軽量鉄骨とセメントで補強した。各教室のドアを扉から引き戸に交換し、廊下や特別教室の床カーペットを塩ビシートに張替えた。また室内、屋外壁の修繕塗装等も完了した。リニューアルした校舎は、以前にも増して明るく、広く、落ち着いて学習ができる環境に生まれ変わった。

ますみ幼稚園

色づいた街路樹に囲まれた園舎に、86名に増えた園児の元気な声が響き渡っている。

10月に行われた運動会では子供達の成長を目の当たりにすることができた。高校の体育祭に参加したり、保育コースの生徒達と虹の丘の畑で芋掘りを共にしたり、運動会では短大子ども生活専攻の学生のお手伝いをいただいたりと交流を深めている。現在はクリスマス発表会の練習に取り組んでいる。体力面、情緒面と子供達の能力を最大限引き出し、生き生きとした毎日を過ごしている。

来年度の園児数は今年を上回ることが確実となったので、これからも心と身体の健全な成長を願って更に努力していきたい。



ますみ保育園

「せんせいっ、おはようございます!」子供たちの元気な声で一日が始まる。72名いる子供たちは体調を崩すことも少なく出席率も高い。保護者が安心して子供を預けられるよう、より一層、衛生、安全を心がけて毎日の保育に当たっている。保育の中で「歩く」ことを大切に、裏山に登ったり、野草園や愛宕神社まで歩いたり、2年3年かけて「歩く力」が確実に付いてきている。今秋10月31日には5歳児が太白山に無事登ることができ、子供たちと一緒に山頂で記念のプレートを飾ってきた。

保育の需要は高まっているが、民間保育園が増えていく中で『選ばれていく保育園』として、保育の質の向上と保育園としての特色を探っていきたい。



追悼 山下裕先生

10月20日(土)、山下裕先生が逝去された。山下先生は平成6年3月、宮城一女高の校長を最後に37年間勤められた公立高校を退職された。同年4月に本学園高校に赴任された。平成8年から12年まで4年間校長として様々な改革に取り組まれた。中でも、教職員への「意識改革」を掲げられ、現在の高校の活動の礎を築かれた。香風会100年記念誌に寄せられた「一点の素心」が最後の寄稿となった。心からご冥福をお祈りする。

理事会の 主なる 議題

■平成19年10月27日(土)
(記念棟2階会議室)

- 教職員の人事計画及び任免について
- 学園の将来計画
(短大定員割れ改善計画書)について
- 学内規程の制定・改正について



「echo」

(1920mm×1700mm 油彩)

大学生生活美術学科4年 後藤 俊幸

普段の生活の中でも他人と接するときに、相手の言動や動作に敏感に反応し、衝突のないように合わせてしまうことがあります。これはコミュニケーション能力が複雑に進化し続けた人間特有の悩みとも言えます。

私が描く絵は鑑賞者の負担になってはいけません。

モチーフの雰囲気は人でありながらも、その他に存在する情報の数は限られていて、ふわっとした色彩から鑑賞者によって受け取り方は様々です。自分の気持ちをただ一方的に押し付けるのではなく、相手との意識の共有を大事にし、この絵をコミュニケーションの手段の媒介の一つとして、私はこの絵に触れる人たちとつながっていきたくと考えています。

学校法人 三島学園 学園報 第9号 平成19年12月発行 三島学園広報委員会編集

学校法人 三島学園 〒981-8585 仙台市泉区虹の丘1-18 TEL.022-272-7511(代) FAX.022-272-7516
[URL] <http://www.mishima.ac.jp> [E-mail] hojin@mishima.ac.jp



環境に優しい大豆インキを使用しています

印刷／笹氣出版印刷株式会社